

新学期が始まり皆さんの元気な顔を見ることができて安心しています。最近教育雑誌を読んでいると、

皆さんが成人する頃には、グローバル化や技術革新などにより、予測困難な時代を迎える。そんな時代に必要なものは、①しっかりとした「知識」②「思考力・判断力・表現力」③「主体性」ということです。皆さんは、今後も日々の授業をはじめ、さえき学、学校行事や部活動などで、これらの力を養ってください。その時々、「自分にできることは何か」「自分のすべきことは何か」を判断しなくてはなりません。今を、よく考え、的確に判断し、冷静に行動する、生きる力を成長させる機会としてください。

2つめは、社会や世界を見て、現実の世の中の事を学ぼうということです。東京や大阪などの大都市では4たび感染者が多くなってきています。海外に目を向ければ、現在、南北アメリカ、ヨーロッパを中心に、日本とは桁違いの感染者数となっています。社会や経済にも影響が出ており、また、様々な人たちが対応に当たっています。

昨年3月10日、ヨーロッパで最初に、外出規制措置をとった、イタリアのコンテ首相の言葉、「明日、抱きしめ合えるように今日は離れていよう。明日、もっと走れるように、今日は立ち止まっていよう。」同様に3月20日、アメリカのニューヨーク州で、民間企業の全従業員の出勤を禁止し、外出禁止令を出したクオモ州知事の言葉、「全責任は私がとる。誰かを非難したければ、私を非難すればいい。」という世界の指導者のスピーチがありました。もしかしたら、現在は、後に世界史の教科書に載るような、歴史上の甚大なことが世界で起きているのだと思います。今、世界で起きていることの生き証人として、現実の世の中がどんな仕組みになっているのか、どんな影響が出るのか、この後、世界がどう立ち直っていくのかなど、学校で学ぶこと以外に、世の中の様々なことを学んでほしいと思います。

感染予防のためのワクチン接種も始まりました。変異ウイルスは若い人も罹りやすいという説もあります。昨年のこの時期を考えると、学校に行くことができない辛い日がありました。最近では感染の仕組みや予防方法の研究が進み、気をつけていけば日常生活を送ることができることがわかってきました。油断せず注意深く日々の生活を送り、引き続き感染の拡大防止に気をつけることです。それ以上のことは、専門家や科学者、政治家でもない人々には難しいです。いずれ必ず、新型コロナウイルス感染拡大の課題は収束します。そして、このたびのパンデミックで混乱した社会が立ち直り、その後、さらに、より良い日本や世界を創りあげていくのは、将来の皆さんの役割です。特に三年生は来るべき就職や進学の準備を確実にすすめていってください。今年も学校の教職員を挙げて皆さんを支援します。